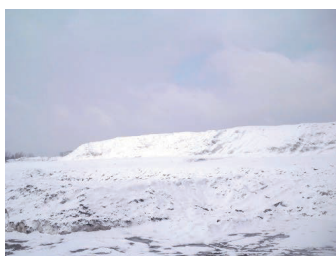


2022 年 1 月吉日

SCARTS×SIAFラボ 冬の展覧会 2022

都市と自然とデータと私たち

2022 年 2 月 5 日（土）－ 20 日（日）



素材はデータ、都市と自然を舞台に未知の存在や関係を探る実験的な展覧会

札幌中心部に位置し、札幌の文化芸術を支え育むことを目指す札幌文化芸術交流センター SCARTS と、札幌国際芸術祭のもとで多彩な実験的活動を続ける SIAF ラボによる共同企画。札幌の寒冷な気候や除雪・排雪といった北国特有の都市機能を、情報テクノロジーや芸術の視点を交えて捉え直すことで、新たな冬の魅力や創造性を発見しようとする継続的な取り組みを紹介する、4 度目となる展覧会です。

2020 年の冬に収集したデータを元に、SIAF ラボが独自に開発するソフトウェアや、プロジェクターやスピーカーにとどまらない様々な機器を用いて、いくつかの実験的なプロトタイプを展示します。札幌の都市と自然の在り方や、データという素材を用いたさまざまな造形、それらが生み出す新たな関係や存在を探求します。

展覧会概要

会期：2022 年 2 月 5 日（土）～ 20 日（日）

時間：10:00～19:00

休館日：2 月 9 日（水）

入場無料

会場：SCARTS モール A・B、SCARTS コート（札幌市民交流プラザ 1F）

主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌国際芸術祭実行委員会事務局、札幌市

協力：札幌市雪対策室、札幌市図書・情報館

助成：令和 3 年度 文化庁 文化資源活用推進事業

ウェブサイト：<https://siaflab.jp/wex2022>

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

〇お問い合わせ

札幌文化芸術交流センター SCARTS

〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 1 丁目 札幌市民交流プラザ 2F

TEL：011-271-1955 / FAX：011-271-1956 / Mail：scarts@sapporo-caf.org

担当：野口、樋泉

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

<本展の見どころ>

7万枚の連続写真からみる都市と自然の風景



雪堆積場の定点撮影写真を時系列に並べた画像の一部

札幌市雪対策室の協力のもと、大量の雪がシステムティックに運び込まれる雪堆積場(月寒第2堆積場と福井堆積場)の様子を約170日間にわたって定点撮影しました。約7万枚におよぶ写真群を印刷し、季節の循環をもたらす地球の公転軌道に対応するかたちで展示することで、作業の様子だけでなく、雪堆積量の増減や日照時間の変化といった大きな移り変わりも見るができます。

協力：豊平区東地区道路維持除雪業務共同企業体、北陽・北海道ロード・佐野特定共同企業体

除雪作業から見えてくる新たな札幌像

2020年の冬に札幌市で稼働した、GPSを搭載した約500台分の除雪車の位置情報データを1枚のプリントに仕上げます。

安定した位置情報を提供しているように感じられるGPSですが、そのデータの精度は、現在地から通信可能な人工衛星の数に左右されます。一見、札幌の道路地図のように見えるプリントからは、除雪車の稼働量が見て取れるだけでなく、都市に立ち並ぶビルやそびえ立つ山、木々によって衛星との通信が遮られてデータの精度が揺らぐ様子、GPSというシステム自体の特徴が同時に見えてきます。そこに現れる「かたち」は都市インフラや自然現象、情報テクノロジーといった様々な要素が絡み合った造形であると言えます。

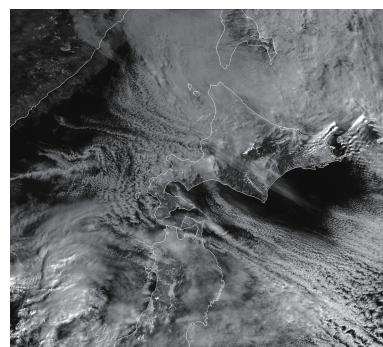


約500台分の除雪車の位置情報を可視化した画像

多種多様なデータが渾然一体となって知覚を揺さぶる空間体験

2つの雪堆積場の定点撮影画像、約500台の除雪車の位置情報に加え、同時期に収集された気象衛星「ひまわり8号」の観測データ、チ・カ・ホの人流データ、札幌气象台による温度や湿度や積雪の計測データなど、スケールや性質の異なるデータを、さまざまなアウトプットと組み合わせ1つの時間軸、1つの空間に配置し、多重に重なり合わせることで、多元的で抽象的な札幌の冬を出現させます。

プロジェクターや液晶ディスプレイ、スピーカーといった一般的な映像・音響機器だけでなく、多様なアウトプットを用いて可視化、可聴化、空間化し、それらを「鑑賞」したり「体感」したりすることを通して、私たちの日常とは違った「かたち」の冬の姿を探ります。



気象衛星のデータを北海道の地図と合わせた映像のスクリーンショット画像
© JAXA・気象庁

< 関連イベント > *全て事前予約不要、参加無料

ギャラリーツアー

2月5日(土) 15:00~16:00

展示会の内容や各展示物について企画・制作メンバーが解説します。
当日 SCARTS コート前に集合

トーク「都市と自然と R&D」

2月13日(日) 2部構成 14:00~15:30 / 16:00~17:30

会場：SCARTS モール A・B

※YouTube 配信も予定しています。

【第1部】札幌の冬と新たな表現 時間：14:00~15:30 (90分)

SCARTS と SIAF ラボの冬の取り組みを通して見えてきた札幌の冬の新たな側面と、そこから生まれた新たな表現の紹介を交え、表現手法としての「R&D」が拓く芸術の可能性について考えます。

(登壇者)

小町谷 圭 (SIAF ラボ/メディア・アーティスト/札幌大谷大学芸術学部准教授)

平川 紀道 (SIAF ラボ/アーティスト)

岩田 拓朗 (札幌文化芸術交流センター SCARTS テクニカルディレクター)

樋泉 綾子 (札幌文化芸術交流センター SCARTS キュレーター)

※登壇者追加予定

ファシリテーター：明貫 紘子 (キュレーター/メディアアート研究者/映像ワークショップ合同会社代表)

【第2部】「S.I.D.E (サイド)」プロジェクト 時間：16:00~17:30 (90分)

SIAF ラボは、北海道のフィールドを舞台にオープンで創発的な新時代のコラボレーションプロジェクトを始動。道外から迎えるメンバーも登壇し、プロジェクトの背景や枠組みを紹介するだけでなく、その中心となる具体的なアイデアも紹介します。

(登壇者)

中井 悠 (No Collective (音楽その他) / Already Not Yet / 東京大学大学院総合文化研究科 (表象文化論) + 芸術創造連携機構 准教授)

朴 炫貞 (アーティスト/北海道大学 高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター CoSTEP 特任講師)

久保田 晃弘 (SIAF ラボスーパーバイザー/アーティスト/多摩美術大学教授)

小町谷 圭 (SIAF ラボ/メディア・アーティスト/札幌大谷大学芸術学部准教授)

ファシリテーター：明貫 紘子 (キュレーター/メディアアート研究者/映像ワークショップ合同会社代表)

● 会期中は上記のほか、さまざまな方に展示会を楽しんでいただけるよう、札幌国際芸術祭が作成したオリジナルガイドブックを配布する他、毎週日曜日には、SCARTS アートコミュニケーターが展示会を案内する鑑賞ガイドなどを実施します。

SIAF ラボについて



2015 年、生まれて間もない札幌国際芸術祭のもと、多種多様なプロジェクトの集合体として誕生して以来、トライ&エラーを繰り返しながら、ジャンルの垣根を越えた、オープンで実験的なプラットフォームとして活動を続けています。北国・札幌ならではのクリエイティビティを模索する研究開発 (R&D)、アーティストの立場に立って実際に作品制作・展示や公演を行うアートプロジェクト、人材発掘・育成と人的ネットワークの構築を 3 本の柱として確立する一方、それらを有機的に結びつけて多彩なプログラムを実施しています。札幌国際芸術祭のテーマであり、札幌の特色でもある「都市と自然」。それらの在り方や相互の関係だけでなく、そこに生まれる営みについて、国際化や情報化にとどまらない現代の多様な文脈において再考し、札幌のローカルな場所や人、物事と再接続することで、札幌ならではの文化・芸術の醸成と発信を目指します。

ウェブサイト：<https://siaflab.jp/>